

排水、防水の整備は安全か

実効性ある計画を考える



やまさき まさお 議員
山崎 正男

考えている。

問 防災上で危険と思われる水路や河川等の補強や改修に対し、積極的な執行をすべきではないか。
危険個所の把握状況はどうか。

答 今西建設課長

問 毎年のことだが豪雨や高潮で河川や水路が溢れて、住民は常に不安にさらされている。

私たちの町の排水、防水の整備は安心できるのか。

答 松本情報防災課長

洪水による氾濫危険区域は、蛸瀬川区域、伊与木川上流から中流区域、伊与木川下流部内水区域で、高潮危険区域は浮津地区となっている。

短期、長期のより実効性のある計画を立てていくべきと

避難対策

階段だけでは不安がある

地域住民との協議を進める

問 町民の要望はそれぞれの思いがある。既設の避難タワーの階段だけでは不安があり、地域ではスロープの必要性を強く感じている。町の考えを聞く。

答 松本情報防災課長

建設に至った経過および財政的な事情により、現在のところ、新たにスロープの追加工事は考えていない。なお、地域住民との協議は、これからも地区防災計画で検討し進めていく。

漁業対策

船の解体費用補助は

財政負担で漁協と考える

問 船の解体費用補助と港の静穏度の課題について問う。

答 尾崎海洋森林課長

廃船の前に使える船は再利用し、漁船はなるべく漁業者、



大漁と航海安全を願う港の風景

もしくは後継者に譲って利用していきたい。漁協の財政負担のこともあり、漁協と今後考えていく。

静穏度は次期、長期計画の中で、航路などの消波工未施工区間の対策について漁協や漁業者と協議をしながら、意見を十分に反映した整備を、漁港管理者である高知県へ要望していきたい。